

# JAITI

ニューズレター

# 1

Japan Agricultural Inservice Training Institute

JAITIとは、「日本農業研修場協力団」の英文。  
Japan Agricultural Inservice Training Instituteの略文字の略で「ジャイチ」と呼びます。1989年、ネパール国で、実践研修農場と10年制学校の設立をもって始められました。農業を生活基盤とする、アジア・アフリカ諸国の農村地域社会の人々が、食料を確保することで「おなかいっぱい食べる幸せ」と、教育と公衆衛生の向上により、健康な生活を送る、自立心豊かな地球上の「友」になってほしいと願い、活動が展開されています。

発行 ジャイチ 発行人 菊池 健介  
住所 0286-06 長野県小県郡武石村沖456  
TEL0268-85-3465 FAX0268-85-3583



## はじめにあたり 「ジャイチ」を応援してください

現在、日本国内の実に多くの団体で、草の根のレベルで、国際協力運動が展開されています。アジア・アフリカの国々に援助・協力をし、村の医療のために、また、井戸をつくるなど、活動も多種多様です。

JAITI（ジャイチ）日本農業研修場協力団では、現在、二つの大きな事業計画をもって、まず、ネパールで活動をするためです。現地ネパールでは、インド大使館の隣に事務局をおき、支配人をはじめ、農場主任他十名のネパール人が、ジャイチネパールの職員として働いています。また、ネパールでの事業計画が明確になったこの間、日本での協力関係を整える必要性が生じ、ジャイチ日本事務局を、この四月から長野県小県郡武石村におくようになりました。日本事務局では、今年中に財団法人としての認可を受け、継続的に私達の活動を進める

体制作りを目標にしています。

ジャイチが最初に取組んでいる、ネパールでの計画は、意図は次の通りです。

一、ネパール国内にて、農業を基盤とした、青少年を対象とする研修場を、ネパール人と共に、ネパール人主役にて運営する。

一、自立心の養成、食料の確保、教育、公衆衛生の確立を目的とする。

一、自給用農場を確保し、農場内に、学校、研修所、宿舎、診療所、実験農場を設ける。

一、国内外の気候風土に見合った作物を選択栽培し、研修受講生が、出身地にて自主営業できる実技と知識を教育する。

一、地域の子供たちの学校も併設し、日本語も含め、成績優秀な者には日本留学への道を拓く。そして、留学派遣候補者には、日本の文化、生活習慣も指導し、日本留学時に、日本の生活にすぐ適け込める方策をとる。

一、森林の育成に努め、研修場内の植樹、地域への苗木の供給源としての役割を担う。

一、日本より奉仕活動に参加して下さる方々への

宿泊設備を運営し、国際交流の一端を担う。

このような計画の内には、高齢化社会の日本人同胞が、八十年人生の後半部分を、または今の生活のある部分を、有意義に過せる場を提供できたらと欲張りな願望ももっています。

「豊かな日本の援助」ではなく、「共にこの世界を築く者同士の協力」として、ゆっくりではあります、着実に一つ一つ、時間をかけ、長く行うつもりであり、しかし、ここで、しっかりと把握しておかなければならないことがあり、それは、豊かな国であるといわれている日本人の、自己満足であってはいけないということ、勝手にプロジェクトを展開すると勝手にしたこと、勝手に外国人で終わってしまうこと、ところが、ここにあると思います。まずは、このジャイチの事業計画をお覚えください、さいますように、そして、様々な角度から大勢の方々が関わって下さり、皆様のお声をきかせてください、ジャイチから新しい国際協力の輪が、展開されることを願います。共に、この世界を築く者同士の協力として、

# 「111」まで歩きました

## 「111」まで進みました

### ——ジャイチのあしあと

時間の経過は、本当に早いものです。と同時に、「カカニ農場」も、「シンパンジヤンの学校」校舎は、アンタール・バイダヤ・パチカスクールを、改めて訪れると、人間の力は何と素晴らしいか、遠大だと、思わざるを得ません。

今年三月、都市近郊野菜専門農家として、九人家族を支えている友人に、専門家の目より、「カカニ農場」への助言を欲しいと言ってネパールへ同行して貰いました。

「カカニ農場」の設々畑、石造りの建物を一見見るなり、「人の手と、この僅かな道具だけで、本当にこんな事が出来るのか。信じられないが驚き以外何もないよ」と、彼は涙ぐみながら語るのです。

友人が指差した、僅かな道具とは、大ハンマー、カナテコ、タガネ、タワ、カマ、ナタ、スコップ、背負い籠、そして一輪車だけなのです。

この一輪車にも、是非日本の皆様に、読んでいただきたい話があります。次号

にて書かせていただきます。

ジャイチは現在、最初の取組みとして、ネパールで協力事業を始めました。

ネパール国内で、ネパール人と共に、ネパール人主役で、一九八九年四月開始し、二年間で、以下の事業を進めました。

一、首都カトマンズに、選りすぐった事務所開設。  
二、カトマンズの北西二五キロのカカニに、農場用地四

加購入。

この土地は、当然の事ながら、三〇度に近い傾斜地です。

大庭君という青年に、通算三回、百八十日程、指導にボランティア参加して貰い、現地の大豆・野菜日本から持参しての米、さつまいも、各種野菜の実験作を実施し、気象記録、土

分析等を調査、記録しています。  
同時に、農場周囲の耕作地、作業路整備、宿舎、食堂、集会室、便所、風呂

を兼ね備えた、二五〇平方

米のスタックハウス、屋外便所、肥溜、牛小舎、道具庫、水道施設を建設しました。

建設と言っても、ここで調達出来る建築材は「石」です。場内の岩山を破砕して、石を一つずつ背中で運んで、積上げる作業です。

又、この地区の山には、程んど水がありません。苗木を現地で購入し、日本からも持参して、植林も実施しています。

特に、長野県の実業家より、「水坑的カラ松苗」を無償提供いただける道も拓けましたので、隣近農家へ配布出来るよう、苗木の育成も始めました。

十年後、二十年後に、ここが、「信州カラマツの森」になっていることを、夢見ています。

将来、スクールバスも入れるように、道路作りから始めました。これも、ご多

分にもれず、傾斜地です。

最初に、一番広く平らな所を選び、運動場を作りました。この運動場を中心に、

一学年一クラス、合計十教室を、一年に一教室づつ作るうと表え、最初の一年生用教室を建築中です。来年は、子供達にも手伝って貰いながら、新一年生用教室を作ろうと思っています。この

様にして、自分達の、弟、妹の為に、自ら汗を流して教室を作り、返える事は、何よりも大切な、人間教育の第一歩だと考えています。

又、早い機会に、調整室、食堂を作り、給食を始めたいと、強く願っています。

給食を通して、子供達に、お腹一杯食べて貰うと同時に、栄養改善、公衆衛生教育を実施して、この子供が大人になった時には、衛生観念の備わった、健康な家庭が、社会が実現することを目指しています。

ポワンティア活動の原点は、今、自分が、自己の責任において、世の中に役立つ事は何かを考え、「先ず行動する」が、大切だと思います。そして、見返りは求めずです。

現実を、自らの目で観る事も、最初の一步として、大切だとも考えます。

そんな中、ジャイチの考えに同調下さった方々が、昨年十八人もネパールを訪



ジャイチネパール事務所(カトマンズ)

間していただき、第一歩を踏み出して下さった事を、大変喜んでおります。今、参加した方々より、協力の輪が広がりはじめ、大いに育てたいと思っております。大切に育てたいと思っております。

ネパールの人々に、何か役立てることはないかと思いい、最初に青年三人を、農業研修の為に、自宅へ一年間迎えたのが、五年間。彼等が、日本再訪を希望する理由が、深いので、豊かな日本産品を贈ることを判り、彼等と呼んで、物質文明の恩を覚えさせよう、私が出掛ける可さと思いつき、具体的に動くに必要な資金

それら大金を提供下さった小林氏ご夫妻に勇気づけられ、農場・学校用地を譲り出掛ける事三回、ここま

で進みました。ジャイチは、今後も焦らず、一歩一歩出来る事より、育て、成長したいと念願しております。「ローマは一日にして成らず」です。最後に成りましたが、今日のジャイチの活動を、資金面で、全面的に支援下さっている、小林榮・みよ子ご夫妻に、衷心より感謝申し上げます、目に涙して結びます。

ジャイチ事務局長 菊池 健介



カカニ農場

# 一九九〇年 ネパール「農場と学校」訪問の旅 報告

一九九〇年十一月九日から十八日までの十日間、十九名は、訪問の旅に出かけました。

ネパールを観て、識り、理解を増して、日本人とネパール人でなく、人類愛をもった、人と人の交流を深めるために、是非早い機会にネパールを訪問してみたいとの、多くの方々の強いご希望があり、「ネパール農業と学校」訪問の旅が開催されました。ジャイナ活動の中心である、「カカニ農場」(シンパンジャン学校)の訪問を含めた旅でしたが、

あつという間の日々でした。訪問した皆さまから、帰国後、お便りや電話で感謝の声を聞きました。その中から、原田さま様のお便りを紹介させていただきます。美しい山々に囲まれたネパールへ出掛け、小林さんを通して人間同志の愛の交流をこの目で見、体験することができ、心より感謝いたします。



経済的に豊かでも心貧しい日本に比べ、自然と一体になり、何よりも心豊かなネパールの人々の姿こそ、完成されたものだと思います。教えられることが多いのではと思いましたが、完成されたものではなく、見えないものを重視している現実を見直さなければと思います。

今回の旅行で、日本、ネパールの沢山の友人が与えられ、私の世界は広がりました。

今年もご要望にお答えして、JAITI「ネパール農場と学校」訪問の旅を企画いたしました。下記のような日程で訪問します。

◆日程 十一月九日(土)から十七日(日)の九日間

◆コース 成田発バンコン經由カトマンズ着、ボカラチトワン(シンパンジャン(学校))カトマンズ、カカニ(農場)、カトマンズ、カトマンズ発バンコン經由成田着

◆対象 人権、貧富、習慣

## 一九九一年 JAITI「ネパール農場と学校」の旅

参加者募集

宗教を乗り越え、人と人との触れ合いをしたいと考えている方、年齢制限、性別などはありません。

◆費用 三十一万円

成田からの旅費、及び宿泊・食事代がすべて含まれます。

◆申込期限 七月末日

申込書を期限までに提出してください。

詳細は同封の案内書をご覧ください。お申込み、お問合せは、担当の尻無濱博幸までお願いいたします。

カカニ 喫茶 飲食 観光

JAITI事務局(成田)本館  
ゆいとりたあまらにむねはる。通子店長。おんい  
如茶のふりやと空しみはら。ネパールははじまり  
アジアの品物。通子店長。てはりしんもはとも。おんい  
むねはるのあまらにむねはる

●JICA 日・出・日 日活20  
●会費は電子納付 Tel. 0262-25-3445  
●代金 5000円  
●フリ 9000円  
●L.A. 4000-8000円  
●紅茶は1000円OKです

才が、帰国時には六二才になりました。

☆帰りの香港でも七人の人達の席を魔法で用意することができました。

☆あつという間の十日間でした。留守番をされていた二家族の皆さまに荷物の中のお土産品と、心の中からのお土産話を差し上げたいことでしょうか。いろいろありましたが、みんな揃って無事帰国できたことが一番のおみやげでした……。

「次の予定は？」と連絡くださる方がいると、嬉しくなります。「お友達に紹介したい」「もう一度行きたい」と思っているの、など理由はいろいろ……。

▼カカニ発

カカニは、いま一足早い初夏です。来る日も来る日も抜けるような青空が目覚める度、又か、といった贅沢な悩みをつぶやいていました。そして月に一、二度、雷が雨が雷が地球を洗い流す様に水平に地球を襲ってきます。カカニの山頂



からカトマンズ市の市街をみているとまるで機械仕掛けの人影のように、ボトンボトンと予定されたみたいにと歩電していきま。風雨の激しさには他人のこともなと考えたことのない東京人の私でさえもどうして遊んでいるのかと感傷的にさせられます。五月十二日、ネパールでの初めての総選挙が実施されました。字が読めない書けない人々が多いため投票は各政党のシンボルマーク、例えば樹、太陽、月、星、牛といった図標に印をつける形で行っています。インドからの全面的援助を受けている保守派、地方での浸透力抜群の共産党との勝負ですが、どちらが勝っても大した違いがなさそうなのは、どこかの国に似ています。結果の判明までには今月一杯掛ります。

▼シンパンジャン発

ジャイナの最初の学校はカトマンズの南西、車で四時間程のところにあります。石楠花等の大木に囲まれた緑の環境といった山腹で道路作りから始められました。ヒマラヤの山腹に抱かれたレンガ造りの瀟洒な校舎。整地された運動場をみるとさ誰かが感動させられます。学校はアンクルパイダヤ・パチカといいますが、アンクルは雷、パイダヤは教育、パチカは旗、つまり「将来大きく花咲く雷を育てる旗」という意味です。工事は順調にすすんでおり現地の熱望もあって八月には仮開校する運びです。国情から正式な認可は来年になります。給食をはじめ算数も教える命名された意味通りの、画期的な学校の開校が待たれます。(萩谷)

# ありがとうございました!

◆1991年5月15日まで  
(アイウエオ順・敬称略)

◆基金協力者  
果実になること  
を祈りつつ、種  
を蒔いてくださ  
り、ありがとうございます。  
ごさいます。

◆維持費協力者  
今日までの活動  
に必要な維持運  
営金をありがとうございました。  
おかげさまで、  
ここまで前進で  
きました。活動  
の血液を今後と  
もよろしくお願

いいたします。  
鎌田はなよ、北村好子、菊  
池健介・道子、小林栄・み  
よ子、小林弘、斉藤ヨシエ、  
齊藤礼子、沢邊節子、杉山  
悟郎、鈴木博章・典子、高  
橋京子、西川正夫、西村科  
学機器部、原田さち、増田  
平八郎・シゲミ、宮口久子、  
山田茂樹・花子、山田直樹、  
増沢忠篤

◆寄付品提供者  
衣類、運動靴、学用品、種  
子、苗木など学校のために、  
農場のために、数々の品物  
を提供していただきました。  
物を通してのぬくもりを感  
じます。「心」をありがとうございます。  
ごさいます。

◆人的協力者  
伊東明子、伊藤和子、今井  
ひろみ、岩穴口三代子、大  
山静江、岡本すみ子、折井  
泰枝、角地弘行、金沢ひろ  
み、金田要子、朝日賢信、  
朝古本、鎌田はなよ、神谷  
平八、河田康夫、菊田裕紀  
子、木下恵美子、木村栄子  
京橋会館水泳教室、倉知芳  
明、栗田修、後藤清子、小  
林五十五郎、小林栄・みよ  
子、小林弘、小林豊山、小  
山英明、斉藤たづこ、佐藤  
修、佐藤マチ子、真田順子  
沢邊節子、清水雪代、清水  
リツコ、菅野早苗、杉山光  
弘、鈴木牧子、鈴木洋江、  
岡田鈴子、藤古文男、高木

幸子、高橋武彦・敬子、高  
橋武光、高橋佳晴、高橋一  
田中文基・弘子、田辺英里  
田辺春美、千葉久栄、土田  
喜美枝、都築安子、鶴見忠  
良・孝子、東京聖公会聖テ  
モテ教会、都立工業高校、  
中川わか子、中沢寛、中島  
栄子、中野京、仲原久子、  
中村和子、西村康博、野本  
かおり、萩原春子、藤部昌  
司、渡田頼子、平塚元由、  
舟波康行、ベプ・ハーン、  
細川信、堀場一、増田平八  
郎・シゲミ、松田友次郎、  
松田慎人、松田礼子、松本  
ヒサ、水口繁、水田喜代美、  
宮口芳明、理明、村田あや  
み、森精・寿子、柳田正夫、  
山口孝行、山崎晃、山科直  
治、山中陽子、由井直人、  
相田和子、渡辺博子、小野  
寺康

◆人的協力者  
萩谷典甫、常陸民生、堀邦  
昌・景子、松本伸一、丸山  
伊佐夫、柳沢英輔、山口孝  
一、山田直樹、ロブサン、  
ナンジン・シユルバ、渡辺  
邦一

## 伝言板

◆四月から、常駐スタッフ  
が入りました。尻無浜博幸  
氏です。法人化に向けて事  
務所の内外で動いています。  
皆さまにひとこと、「苗字  
が長いので、派」と編めて  
お呼びください。信州の大  
自然に囲まれて、ますます

◆ボランテアで参加して  
くださる方、募集中です。  
お願いしたい所はカカニ農  
場(ネパール)、または、長  
野にあるジャイイチ日本事務  
局です。細く長く関わって  
くださる方、ご連絡くださ  
い。

◆前の紙面でもお知らせい  
たしましたが、事務局の中  
にこのほど開店しました。  
「カカニ」ショップがあり  
ます。ネパール・スリラン  
カの紅茶からお食事(要子  
約)、ネパールの布、焼物、  
タセサリなど、ところ狭  
しと並んでいます。「新しい  
世界への誘い」をきくと感  
じられるでしょう。お店を  
訪れ、食事をなさった方が  
次の日もやってきて、「おみ  
やげ用に作ってください。」  
とおっしゃいました。気に  
入ってくださいる方が増え  
ていきます。是非、一度、お越  
しください。

## 基金・維持費のお願い

JAITIの活動をいつも心に留めてくださり、感謝申し上げます。  
運営されている財源その他について説明とお願いを以下のように記  
しましたのでご覧ください。

1. JAITI基金——財団法人JAITIの基本財源を確保  
基金を信託銀行で運営し、その果実(運営費)でJAITI活動の基  
本部分を確保することを目的としています。宿根草、多年草、  
果樹のようなものです。  
●基金が大きくなればなるほどJAITIの財源が豊かになります。  
●基金へ寄付していただいたお金は何十年何百年あともJAITI  
がある限り、寄付者名と共に残って行きます。
2. JAITI維持費——JAITIの運営維持費  
基金から生み出される財源では只今のところ活動に不足を来た  
します。そこで今必要な活動に使わせていただく目的のものと  
す。一年草のように春まいて秋に収穫して終わります。  
●基金が充分大きくなれば、必要のないものです。  
●当分の間、この維持費はJAITIの活動に欠かせない費用です。
3. JAITI事業費  
新たに大きい費用のかかる事業を計画した時にその応援費用と  
して確保することを目的としています。  
●通常の予算(JAITI基金の果実、JAITI維持費で組まれる)で  
は賄いきれない時に臨時に集める目的寄付金です。  
●必要な時に皆さまにお願いのお知らせをさせていただきます。

JAITIでは上の3つのような形でご寄付をお願いしております。  
何にご寄付いただいたのか、お教えくださいますと幸いです。もしも  
特にご希望のない場合は基金と維持費に半分ずつ使わせていた  
だきますのでご了承ください。

振込先 郵便振替 長野3-42434 ジャイチ  
住所 ①386-05 長野県小原郡武石村沖456  
電話 0268-85-3465 FAX 0268-85-3583

尚、金額に関しては規定がございませんので、おひとりおひとり  
ご自分でお決めくださいますようお願い申し上げます。(例えば、収  
入の1%を、お小遣の1%を、的々考えはどうでしょうか?)

## 編集後記

初夏のさわやかな季節と  
なりました。ジャイイチの活  
動もそれに合わせますかよう  
に、より活発に日本内外で  
動き始めています。  
このたび、ニュースレター  
を創刊するに至ったのは、  
今までの活動とこれからの  
方向について、文字にし、  
皆さまにご理解いただくこ  
とを考えたからです。どうぞ  
ご意見、ご要望、ご感想を  
お寄せください。

法人化まであと一歩!  
信州は美ヶ原のふもとから  
皆さまに感謝しつつ、また  
ご健康をお祈り申し上げます。  
今後とも、ジャイイチを  
お愛ください。(山田直樹)